



ちきゅう

みまも

うちゅうじん

地球を見守る?宇宙人

もし、宇宙に多くの生命が存在したら!?
もし、その中で宇宙を自由に行き来できる文明があったら!?



ちきゅう みまも うちゅうじん
地球を見守る?宇宙人

SF・・・サイエンスフィクション。科学を題材にした作り話。

今も昔も、世界中で人々の想像をかきたててきました。

サイエンスとフィクション。この二つはそれぞれがお互いに影響を及ぼしています。

日々進歩する科学。言い換えれば、科学は、未知の世界を切り開いていかなければなりません。

フィクションは、この科学の進歩にアイデアを与え続けています。

作り話ではありますが、人類に來たるべき未来のヒントを与え続けています。

さて、SFでは様々な宇宙人が地球を訪れており、彼らは広い宇宙もひとつ飛び。

そこである人は思いました。もし宇宙に多くの生命が存在し、その中で宇宙を自由に行き来できる文明が1か所でも発達したら、

その科学は次々に伝わって、宇宙は高度な文明で満ち溢れるのではないかと？

では、なぜ地球には宇宙人が見当たらないのか？その背景をSF的に想像して楽しんでみましょう。

約 21 分

ホタテ型宇宙船のふたり

船長「次は地球だな。」

姫「次は地球ですね。」

彼らは宇宙を飛び回っている。

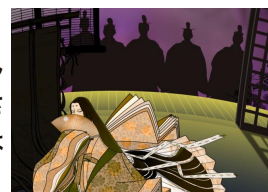
新しい生命を探したり、発展中の

文明を調査するのが仕事なのである。ふたりが目指すのは地球。

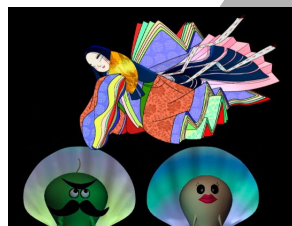


惑星の殿方とは交際しないこと

美しいかぐや姫の噂を聞きつけて、どうしても結婚したいという男性たちがお爺さんの家にやってきましたが、かぐや姫は誰一人として会おうとはしませんでした。



惑星調査の決まりごと



調査先の惑星で守るべきこと。

その1. 自分の正体を教えない。

その2. 先進技術を伝えない。

物を置いてくるのもダメ。

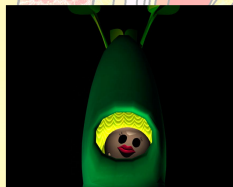
その3. 惑星の殿方と交際しない。

もちろん結婚もダメ。

その4. 風邪をひいたら調査終了。

その5. 安全のため、その惑星における美人 (!!)の姿で潜入すること。

準備オッケー、竹型ロケットで地球に向かってゴー!



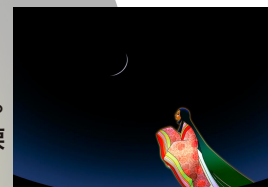
帝(みかど)との交際



そして、ついにこの話が帝の耳に入りました。帝はかぐや姫の姿を見て、その美しさに一目ぼれしました。かぐや姫は帝との結婚は断りましたが、お友達としての交際は続きました。

満月が近づくと...

それから3年の月日が流れました。かぐや姫は月を見てぼーとしています。月が少しずつ満月に近づくと、今度は涙を流し始めました。



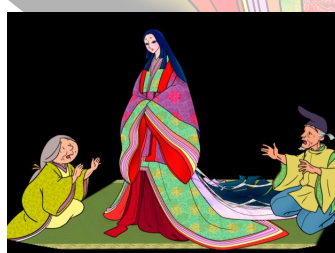
ほぼ「竹取物語」



ある山に、竹取りのお爺さんとお婆さんが暮らしていました。お爺さんは毎日竹取りに出かけます。ある日、1本の輝く竹を見つけたお爺さんは大きく斧を振りかざします。すると、中から三寸ほどの可愛い女の子が出てくるではありませんか。ふたりは、その子を育てることにしました。

世にも美しいかぐや姫

女の子はみるみる大きくなり、3ヶ月程で美しい娘になりました。ある人が彼女をかぐや姫と呼ぶと、皆もそのように呼ぶようになりました。



「私はある理由で、もうすぐ月へ帰らねばならないのです...。」

かぐや姫の話にびっくりしたお爺さんは、帝に相談しました。帝は、自分の兵を全て姫の守りに付けたのです。

別れの日にかぐや姫が渡したもの

ついにかぐや姫が月に帰らなければならない日がやってきました。帝の軍勢が守っていましたが、いざ、迎いの使者がやってくると体に力が入らなくなって姫を守れません。かぐや姫は、お別れに不死の薬を帝とお爺さんたちに渡しました。



地球を調査する宇宙人はいるのか?

地球の調査を終えたホタテ船長と姫は、宇宙の彼方に飛んで行きました。…はたして彼らのような宇宙人はいるのでしょうか？地球以外に生命はいない、いや、広い宇宙には既に我々以外に高い文明を持った生命がいて、時々地球を訪れて、地球は保護、または観察の対象になっている…なんて考えるのも面白くありませんか？



ナレーション：服部 潤 (青二プロダクション) 声の出演：佐藤正治・金月真美 (青二プロダクション)
脚本・選曲：鷺巣 亘 キャラクター・イラスト：塚田洋子 CGアニメ・編集：福留政彦 CG：藤井 昇